TSUBAKI
株式会社 椿本チエイン

Vehicle to Building　Vehicle to Grid

e-LINK

＜V2X 対応充放電装置＞



新しいエネルギー社会へ。
電力を動かす未来に挑む。









使いやすいスマートなデザイン



公共施設や事業所に馴染み、
車両からの視認性もよいデザイン



自然な動きで抜き挿しできる
充放電コネクタとホルダ



人の目線の高さに合わせた
操作性のよいタッチパネル・ボタン



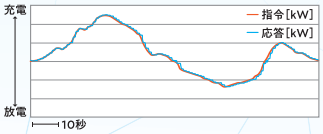
運転中画面　認証コード入力画面

eLINKの運転状況が一目でわかり、
ユーザー認証も可能なタッチパネル

多彩なシーンにフィットする機能

■通信インターフェイス
ECHONETLiteだけでなくModbusTCP、BACnet（予定）にも対応

■高速・高精度な充放電制御
EMSなどからの指令に対して早く、
正確に動作可能



■太陽光発電、蓄電池との連携
平常時の協調制御はもちろん、非常時でも連携し、長時間運用や、余剰電力の充電が可能



■機器の内蔵が可能
LTEルータ、ゲートウェイ、電力計測器などの機器をeLINKに内蔵することが可能



導入実績

● V2G導入
EVの蓄電池を活用したバーチャルパワープラント（VPP）V2Gアグリゲーター実証事業



● 放電も体験できる駐車場での採用
商業施設で使えるクーポンなどを発行できる



EV・PHEVの大容量バッテリーを社会インフラとして活かす「eLINK」

「eLINK」は、電気自動車（EV、PHEV）の大容量バッテリーから取り出した電力と電力網を双方向につなぎ、停電時には非常用電源として、平常時には系統への給電（連系）やEVへの充電をスマートに制御できる事業者向けV2X※対応充放電装置です。

※「Vehicle-to-Everything」の略。蓄電池を持つ自動車（Vehicle）と住宅（V2H）、ビル（V2B）、電力網（V2G）などの間で電力の相互供給を行うこと。これらの総称として「V2X」と呼ぶ



eLINKの用途

停電時の非常用電源（BCP）
安心・安全

●停電時にはEV・PHEV・FCV※1を電源に、避難所や情報拠点の電気機器が使えます。
●他の蓄電池や太陽光発電と組合せて使えます。※2

※1 V2Hガイドライン対応車両　※2 使用できる機種はお問合せください。

デマンド（電力需要）のピークカット・ピークシフト
電気代の抑制

● EV からの給電でデマンドを下げ、契約電力の削減や節電要請に応えます。
● 電気代の高い時間帯から安い時間帯（夜間）に充電をシフトし、電気代を抑制できます。

EMS※3からの充放電制御をスマートに実現

●高応答・高精度でVPPリソースとして活用できます。【需給調整】
●ECHONETLite、Modbus TCPなどに対応。
●EMSとの通信機能が充実、エネルギーマネジメントで使いやすい。

※3 エネルギーマネジメントシステム

株式会社 椿本チエイン　PCSビジネス部　〒610-0380 京都府京田辺市甘南備台1-1-3
詳細に関してはホームページもご覧ください。ホームページアドレス https://www.tsubakimoto.jp/other-products/elink/
email：eLINK@gr.tsubakimoto.co.jp

TSUBAKI eco LINK